

行政連絡会 — 質疑応答抜粋 —



山間部への移住者を増やして

4月27日と5月9日に、中央公民館・保健福祉センター香北・奥物部ふれあいプラザの各会場で、平成31年度香美市行政連絡会が開催されました。

186 (土佐山田122・香北39・物部25) ある自治会のうち116人の自治会長が出席し、市から、予算や補助金、移住定住促進などの説明がありました。

その後の質疑応答(抜粋)について、要旨を紹介します。

山間部では、農地の利用が年々減り、住民も減る一方で、道や水路の維持がますます困難になっている。

就農という形での移住は、これまでにも試みたが、公的支援をしても継続にはつながらないことが大半であった。山間部での農業は兼業が前提となることが多く、自家菜園や自給用の田などの所有・取得を認めることが、条件付きであっても不可欠ではないかと考える。

また、ネットを利用したサテライトワークで収入を得ている人の移住を勧めるために、ネット環境の強化も同時に推進してほしい。

自治給のための農地利用であっても、権利取得においては農地法の許可が必要であり、農業委員会では農業経営を図るうえで最低限必

要な下限面積として山田40アール、香北・物部30アールと設定しています。ただし、空き家バンクとセットで登録された農地については、要件を満たせば下限面積を10アール未満に設定することは可能であり、希望される方がいれば農業委員会で諮ります。

移住促進について、香美市ではホームページや、移住定住交流業務委託先であるNPO法人いなかみのいなかみライフなど、インターネットを通じた移住の情報発信を行っています。これまでの継続的な取り組みの効果が表れ、移住に関する相談は増加傾向にあります。その中には、山間地・中山間地での田舎暮らしを希望する方も多く、光回線などのインターネット環境は重要なインフラ設備であると認識しております。

市街地における光回線は整備済みですが、市街地から外れた地域についての光回線などの情報インフラが未整備であるため、それについての要望は市でも把握をしています。しかし、ラニングコスト等課題が多く、市単独での解決は困難な問題であるため、NTT等の通信事業者に対し、企業努力による整備の拡大を引き続き要望していききたいと考えます。

神母ノ木地区の公共下水道敷設は

神母ノ木地区への公共下水道敷設は予定通り行われているのか進捗状況を知りたい。地元説明会時の予定よりも、既に1年は遅れていると思われるが？

平成30年度は施工箇所が県の道路拡幅工事と重なり、工事時期や施工方法の協議に日数を要し工事の着工が遅れました。現在は県との協議がまとまり、4月下旬から着工、8月末には完成予定です。今年度につきましては、引き続き実施できるような8月までに工事を発注し、地元説明会で説明した通り月見橋付近まで污水管を敷設します。

今後は事業に遅れが生じないように努め、計画通り進めますので、地域の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

ごみ出しの時間を遅らせて

ごみ出し時間は7時30分までとなっているが、11月〜2月までの冬の期間は8時30分までにならないか？

出勤する時間が7時〜7時30分の方が多いことや、ごみ出しの管理を自治会等でお願していることから、現在の回収時間を遅らせた場合、猫やカラス等による散乱やごみステーションを管理されている方々の出勤する時間に間に合わない等の問題が発生することが懸念されるため、収集時間の変更は考えておりません。

テクノパークへの誘致について

工業団地(テクノパーク)への誘致の状況は？

当該工業団地は高知工科大学に隣接する産学連携の拠点として、平成16年4月から分譲を開始し、以来、全7区画中4区画に企業が進出しましたが、平成19年2月以降は企業誘致が進ん



でない状況です。

企業誘致が進まない理由としては、残った区画の面積が狭いこと、進出に興味を示した企業の大半が、地区計画で定める指定業種の要件を満たさないことでした。そのため平成29年度に地区計画の一部を変更し、進出を希望する業種の間口を広げました。

今後も引き続き県と連携しながら、また担当課としても先進地の取り組み等を研究しながら、企業誘致につなげていきたいと考えています。

今後のJR土佐山田駅北口の整備は

都市計画道路『宮前秋月丸線』について『秦山公園線』との交点からJR土佐山田駅北側への路線は、今後、整備されるのか。

土佐山田町市街化区域において、JR土佐山田駅を中心として北に『あけぼの街道』南に『国道195号』が東西に走り、コンパクトな市街化形成ができています。ただし、市街地の中にも空き地などがあり、クリアしなくてはならない問題もありませんが、今以上に居住者の増加を目指していかなければなりません。

現在、地域の皆さんの協力により、あけぼの街道から商店街を通っての国道195号への連絡を課題とし、『都市計画道路新町西町線』の早期完成を目指しています。

また、完成後の次なるステップとして、JR土佐山田駅や軌道をまたぐ歩道橋建設などの基本計画を行っています。併せてあけぼの街道からJR土佐山田駅北

側への連絡をどうするのかを課題と考え、身の丈にあった、予算・用地等を考慮し、実現可能な事業の検討を『香美市都市計画マスタープラン』で検討すべきと考えています。

交通標識等の不備を早期に直して

交通標識の不備(停止線の明示・カーブミラーの角度・雨の対策)を早く直していただきたい。また、あけぼの街道の交差点の信号機の表示時間の改良もお願いします。

現在、市道のパトロール等により交通安全施設も含む、道路付帯設備等の確認を行っています。認定市道だけでも路線数約960路線、総延長は520kmあり、すべての確認までではできていない状況です。

そのため地域からの連絡により職員が現地確認を行い、雨水対策も含めた危険性・緊急性を考慮し、対応をしています。特に自治会長からの連絡も多く、この場を借りましてお礼申し上げ



今後もご迷惑をおかけしますが、国道・県道・市道にかかわらず何かありましたらご連絡をお願いします。関係機関等と協議を行い、早急な対応を取っていきたいと考えています。

あけぼの街道の信号機の交差点表示時間の改良については、管轄する南国警察署交通課に確認したところ、黄色信号の長さは3秒、矢印付きの信号の場合は、矢印表示後2回目の黄色信号の長さは2秒と、全国的に統一された長さで決められているため、個別に変更することは行っていないとのこと。